

NPO 法人 住まいのホームドクター／設計者
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル 3 階

HD ニュース
No. 102
2023. 3. 9

今後の予定

3/13 18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会
4/6 18:30～ 役員会
4/20 18:30～ 相談委員会

元副理事長 寺島靖夫氏の逝去を悼み、新たな前進を目指そう

理事長 滝井幹夫

今号冒頭は悲しい知らせになりますが、寺島靖夫さんが逝去されました。

私にとっては、この地域の様々な建築運動の先輩であり、誠実な人柄と進取に富んだ建築人として敬意をはらう対象でもありました。

また、寺島さんは本会創立時からの熱心な会員のお一人で、会の設立と発展に大きな貢献を果たされました。

私が浅学・非才の身でありながら、2代目理事長をお受けしようと決意した時は、当時副理事長だった彼の熱意ある口説きが、大いに効を奏したと思返しています。

副理事長を退任されてからは地元地域での社会的活動をされ、昨年の夏からは病氣療養中でしたが、2月6日、残念ながら帰らぬ人となりました。

ここに、心からのご冥福と感謝の意を申し上げます。

振り返ってみますと、寺島さんを含めて、平成 16

年 5 月に本会発足の前から、実に多くの方々が会の発足と発展に尽力されて来ました。

初代田邊理事長、神谷・梶田両副理事長、杉浦事務局長を始め、理事、会員の中でも帰らぬ方が、既に多数を数えるようになっています。

改めて今後の活動を考える時、会員の減少や長引くコロナ禍の影響など、本会の活動を取り巻く環境は厳しいものがありますが、「住まいのホームドクター」という名称に込められた理念を思い返し、本会の活動の大切さを改めて噛みしめているところです。

その為には、以前からの繰り返しになりますが「新築・リフォーム・既存住宅調査」と「マンション・ビル」の、二種類の改定リーフレットを有効に活用して、市民・消費者、消費者相談員などに「会」の存在を広め、多くの人に役立つ存在になりたいものです。

また、絶えず専門知識を習得し、元気に活動を継続できる為にも、見学・研修旅行や研修会を大いに開催していきたいと思えます。

怒りを忘れた国民？

理事 片山繁行

3月2日の中日新聞に国民負担率 47.5%の記事が出た。言葉の意味はなかなか難しそうだけど、江戸時代の五公五民に例えられていた。

1970年には24.3%、2013年に40.1%、2021年には48.1%と年々国民の負担が高くなっていることが分かる。GDPで見ると、高福祉政策で有名な北欧に迫るようだ。しかし、日本の福祉政策は、北欧に及ばない。

電気代の補助とか、ガソリン代の補助とかで、政府の小手先の目くらましで、国民はごまかされている。

結局 補助金は借金であるので、後年 若者の負担が増すばかりである。

3.11 東北の大地震で、原発は懲り懲りしたはずなのに、政府は 60 年を超えて原発を動かそうとしている。いまだに原発の被害による復興遠く、帰宅困難者・地域が残っているにもかかわらず、国民の意見は、賛成反対半々のようだと報道されている。使用済み核燃料の最終処分場もなく、原発は北朝鮮の恰好なミサイルの標的になるというのに懲りないのか、不思議な政策である。

本紙バックナンバーは当会のホームページ<http://www.sumaidoctor.or.jp> からご覧いただけます



福島原発事故

防衛費の増額が、国会で議論らしいものもなく、何に使うのかわからないまま、中身もないのに決まったようである。世界の状況が緊張していることをいいことにあつという間である。

■三役会 2/9 18:00～19:00

会員動向、収支状況、委員会の活動状況について。相談委員会リーフレットに別紙相談メニューをつける。研修旅行日程を7/中旬～8/盆前で再調整。

少子化対策も内容がない。子供が増えれば、予算も増えるというような、鶏が先か卵が先かという議論であった。

非正規で仕事をしている労働者の数が、2000万人を超え、一向に減らない。全労働者の中で、36.7%を占めている。そのうち約7割がパート・アルバイトだそう。当然所得格差はひどく、2019年税務調査によると正規労働者が、503万円、それに対し非正規労働者175万円とある。非正規労働が減らない限り、少子化の歯止めはかからない。

以上 最近の事例を挙げてみたが、政府は、一向に説明しようとならないのに対し、マスコミをはじめ、国民の怒りの声が聞こえてこないのはなぜだろう。

■相談委員会 2/21 18:00～18:30 (Zoom 併用)

無料電話相談の報告。リーフレットについての協議。配布先に名古屋市生涯学習センターを加える。名刺用の写真撮影。既存住宅調査部会：多治見案件の報告書回覧。ビレッジハウスの状況調査報告業務について。電話当番の担当を決めた。